
わたしのちから

雨月茶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

わたしのちから

【Nコード】

N3119Z

【作者名】

雨月茶

【あらすじ】

あの人が大好きな、私。今日もあの人に逢えた。

(前書き)

乙女の純愛って・・・？昔を思い出して書いてみました。

石ころ一つを持ち上げるにも力は使う。
かがんで手を伸ばして、つかんで。
石ころ一つ持ち上げる。

「おはよう。」

「あ・・おはよう」

朝、何時も挨拶を交わすだけの人。
私のこと、何時も気にかけてくれる（はず）の人。
それだけの、大事な、人。

こつん、とどこからかあの人に石が飛んできた。

「いてっ」ってあの人、頭をさすさすしてる。

石が頭に命中、痛そう。。可哀想。

「うへwお前、かわいそww」

あの人と仲のいい、あいつが笑った。

「・・んだよw仕方ないっしょ。どっかから飛んできたんだし」
あの人照れ笑いしてる。可愛い・・。

石ころ、もっと飛び上がれ。

もっと、もっと、あの子の可愛い顔を見せて・・。

一つ、二つ、三つ。

持ち上がる石ころたち。

力、・・・ち・・・ちから、入れ。

石ころ全て

大事なあの人へと向かっていく。

「え!?!」

「ありえないって!?!?!」

あいつとあの人の吃驚する顔が見えた・・・と思ったら。

壊れて消えた。

私の恋心・・・はい、それまでよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3119z/>

わたしのちから

2011年12月10日22時48分発行